

第155回 精神保健従事者団体懇談会定例会報告

第20期精従懇担当 鈴木宗夫

日時：2013年6月1日(土) 14:00～17:00

場所：ホテル機山館会議室

記録：全国精神障害者地域生活支援協議会(後日議事録作成)

日本臨床心理学会からの出席：藤本豊(幹事会より)、實川幹朗(運営委員長代理として13:00～幹事会より)、鈴木宗夫(定例会)

(報告事項)

■各団体からの報告

臨心：(発言順)

鈴木－7月に中国大連にて災害対応を中心に交流の大会を開く。8月に総会を開き、運営委員の改選を行う。の2点を報告。

② 藤本－全心協の赤須氏から補足をお願いしますを受けて資格化の動きについて報告。

③ 實川－1) 今回、運営委員長が来るはずだったが、急遽代理として出席したこと

2) 出席の理由として、現担当の二人が出席してきたが、いろいろ不都合なことがあり、情報が出てこないなど、今回のフォーラムに関してもどんなことをやるのかといくら問い合わせても「わからない」とか、代表幹事の名前もわからないとかという状況でしたので、運営委員長が学会を代表して来る予定だったが、都合が付かず、急遽私が代理で出席することになった。

3) 7月の大連での大会は「災害対応」が中心ではなく、「東アジア地域での非西洋的な新しい心理学の模索を中国と共同で行う」という日本の心理系の学会としては初めて正式の大会を中国で開く」というところに一番の主眼がある

4) 大会には比較民俗学会という他学会の協賛を得て「東洋的な知恵は近代的な医療だけでなく、古くから伝わる民族的な知恵の中に隠されているのではないか」ということで、東洋的な心理学を考えていくシンポジウムを行う。

5) 8月10日に総会を開催。委員の改選など。

6) 7月13日に関西の芦屋で「精神医療問題のいま」と題する講演会、学びと交流の会と言っていますが、講演会を開く。これは、NPO薬害研究センターなどに所属する中川聡さんから向精神薬の乱用などの薬害問題、副作用が十分に考慮されていない問題などについて患者・家族の立場からのお話を交えて考えていこうという企画になっている。

7) 前回議事録(154回)の訂正、「2月に発達障害の研修を関東で行った」に「薬漬けになる子どもたち」を研修の後に加える修正を提案。 → 了承された

■HPの開設について

病地学会－宇田川氏より報告：5月の頭に精神保健従事者団体懇談会のHPを開設し、加盟各団体に向けて開設の報告をMLで流した。その後、日本臨床心理学会へのリンクが日本心理臨床学会へのリンクになってしまっているとの指摘を受け、直ちに修正した。この件につき宇田川氏より「日本臨床心理学会には大変ご迷惑をおかけしました」との謝罪があった。

トップページ下部に加盟団体一覧を載せているが、法人名を正確に記述して欲しいとの依頼があったが、正式名称を記述すると極端に文字が小さくなり、

読みづらいものとなるため、団体名のみでの記述とし、正式名称はリンク先で表記されるものを参照するようにすることが確認された。

(討議事項)

1. 平成24年度事業報告および決算案(事務局)・・・全会一致で可決・承認
2. 平成24年度監査報告案(宇田川監事)・・・全会一致で可決・承認
3. 平成25年度事業計画および予算案(事務局)・・・全会一致で可決・承認
4. 精神保健福祉法改正について
P S W協会・木太、大塚氏から法案の審議経過状況などについて報告
※ 参議院で付帯決議が付いたが、可決成立の見込み
5. 他の関係諸法について報告 (P S W協会・木太、大塚氏から報告) と意見交換
P S W協会・木太、大塚氏から法案の審議経過状況などについて報告
 - ① 障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律案 → 可決成立
 - ② 道路交通法の一部を改正する法律案 → 可決成立の見込み
 - ③ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律案 → 参議院で付帯決議付く
 - ④ 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(いわゆるマイナンバー法案) → 5/24可決成立、2016年1月交付開始※ 鈴木より、「障害年金を受給している障害者で一定の収入を得ている人がこの制度の導入により、障害基礎年金の受給が打ち切られたりしないかと心配している人がいるが、こうしたことに対する何か情報はありますか？」と質問
→ 「現在、特になし」とP S W協会の木太氏
※ 藤本より、発言。(内容は覚えていないので藤本さんから直接聞いて下さい。)
6. 「精神保健フォーラム」の企画について
日時：2013年11月23日(土) 会場規模：500人規模
会場候補：① 大手町サンケイプラザ
② コングレスクエア
開催テーマ：各種法改正を絡めたテーマをメインに据える
実行体制：実行委員会方式とし、次回定例会までに叩き案を作成する
実行委員選出：
実行委員長：長谷川 (病地)
副委員長：藤本 (臨心)
実行委員：木太・大塚 (P S W協会) 宮下 (あみ)、渡辺 (精労協)、岡崎 (精神神経学会)
→ 承認された
7. その他
次年度の事務局＝病地学会移管に伴う書類やファイル等の整備について
・・・引き続き検討を行ってゆく。